東進模試

東京科学大本番レベル模試

受験生 | 高2生 | 高1生 | 基礎 | 標準 | 難関

マーク式 | 記述式 | リスニング | 解説授業 | 総合評価

第1回	第2回	第3回
6/28(日)	8/2(日)	11/29(日)
7/7(火)より返却開始予定	8/11(火・祝)より返却開始予定	12/8(火)より返却開始予定
申込締切日 6/25(木)	申込締切日 7/30(木)	申込締切日 11/26(木)

理工学系の内容で実施、合格可能性を判定します。医歯学系を志望する生徒は「医学部82大学判定テスト」および「全国国公立大記述模試」を受験してください。

● 受験会場
東進ハイスクール各校舎
東進衛星予備校各校舎

● 一般生受験料 7,500円 税込

● 教科・科目・試験時間［予定］

● 必須科目

学院	英語 90分	数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C 180分	物理 各120分	化学 各120分
理学院	●	●	●	●
工学院	●	●	●	●
物質理工学院	●	●	●	●
情報理工学院	●	●	●	●
生命理工学院	●	●	●	●
環境・社会理工学院	●	●	●	●

● 時間割例

教科	時間	配点
数学	9:00～12:00	300点
英語	12:50～14:20	150点
物理	14:40～16:40	150点
化学	17:00～19:00	150点

● 返却・配付資料

東進ドットコムで公開

①解答解説集…試験当日より公開
②復習ツール（基礎データ・採点基準）
…試験実施日の9日後より公開

● 成績表

【東進生】試験実施後、中8日で「WEB成績表」を学力POSで閲覧できます。
【一般生】試験実施後、中8日の返却開始日より1カ月の間に紙の「個人成績表」を受験校舎でお受け取りください。（受付時間は受験校舎にご確認ください）
「WEB成績表」は「個人成績表」に掲載の二次元コードを読み取ることで閲覧できます。

※最新の入試要項に合わせ、内容を変更する場合があります。

お申し込み方法

① ウェブ申込
スマホ・PC（パソコン）
タブレットから
www.toshin.com
東京科学大本番レベル模試

② 校舎窓口
受験を希望する
校舎の窓口に直接
お問い合わせください。

東進ハイスクール
東進衛星予備校
東進ハイスクール 0120-104-555 / 東進衛星予備校 0120-104-531
www.toshin.com
東進

模試の東進
12の大学別
本番レベル模試
など
予備校界随一のラインアップ
詳細は東進ドットコムへ！

東進の共通テスト型模試

共通テスト本番レベル模試	全国統一高校生テスト

共通テスト本番と同じレベル・形式・出題範囲で、“本番までにどこまで点数を伸ばせるか”シミュレーション

WEB成績表で学力を最大限に伸ばす“正解必須問題”を徹底分析、解くためのアドバイスも満載

成績表を 中5日で 超スピード返却！

大学別模試との総合評価（一次+二次）で入試本番のシミュレーションができる！

お問い合わせは下記校舎または東進本部まで

東進模試は学力を伸ばし合格するための模試です。

受験生 | 高2生 | 高1生 | 基礎 | 標準 | 難関

マーク式 | 記述式 | リスニング | 解説授業 | 総合評価

東京科学大本番レベル模試

高2以下は「高2東京科学大本番レベル模試」（同日実施）を推奨

年間を通じて東京科学大※の二次試験と同じ出題形式・レベル（理工学系のみ実施）

第1回	2026年 6/28(日)
第2回	8/2(日)
第3回	11/29(日)

① 年3回、東京科学大※二次試験を徹底再現し合格可能性と学力の伸びを明らかにする連続模試

② 学力を最大限に伸ばす“正解必須問題”がわかる

③ 詳細なWEB成績表で、“本番までにどこまで点数を伸ばせるか”合格への道筋をシミュレーション

成績表を 中8日で 超スピード返却！

※理工学系の内容で実施、合格可能性を判定します。医歯学系を志望する生徒は「医学部82大学判定テスト」および「全国国公立大記述模試」を受験してください。

2026年 東進現役合格 東京科学大266名
※東進ネットワーク（東進ハイスクール・東進衛星予備校・早稲田塾）の合同実績 現役生のみ！ 講習生を含まず！ 昨対+6名

お申し込み・詳細は ◀こちらから

● 受験会場
東進ハイスクール各校舎
東進衛星予備校各校舎

● 一般生受験料 7,500円 税込

東進ハイスクール 東進衛星予備校
東進模試は学力を伸ばし合格するための模試です。
www.toshin.com
もっと詳しく!! お申し込みは 東進

お申し込み・詳細はこちらから

年間を通じて東京科学大の二次試験と同じ出題形式・レベル

東京科学大本番レベル模試（理工学系のみ実施）

第1回	第2回	第3回
6/28(日)	8/2(日)	11/29(日)

受験生　高2生　高1生　|　基礎　標準　難関

マーク式　記述式　リスニング　解説授業　総合評価

● 申込締切日　それぞれ試験3日前
※校舎申込の場合、席があいていれば直前まで受け付けています。

● 一般生受験料　7,500円 税込

東京科学大！合格するための模試

合格を本気で目指すなら！

特長1　年3回、東京科学大（理工学系）二次試験を徹底再現し合格可能性と学力の伸びを明らかにする連続模試

年間を通じて、東京科学大二次試験と同じ出題形式・同じレベルで出題し、入試本番を想定した実力測定を行います。そのため、**現時点での実力に加えて、合格するために今やるべきことが明確**になります。さらに東進ならではの「絶対評価」により、志望校までの距離（合格ラインまであと何点必要か）や前回からの学力の伸びが具体的にわかります。これまでの努力の成果を可視化するとともに、合格に向けた今後の学習計画立案に生かせます。

特長2　学力を最大限に伸ばす“正解必須問題”がわかる

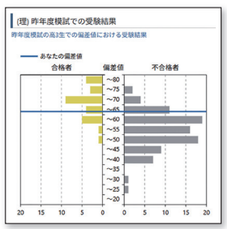
成績表は試験実施後、中8日で返却されるため、受験時の記憶が新しいうちに復習が可能です。個人成績表では、合格可能性や偏差値の表示はもちろん、目標点まであと何点必要かを示します。さらに、個人成績表からアクセスできるWEB成績表では、**優先的に対策をすることで大きく得点を伸ばせる「正解必須問題」もわかります。**詳細な分析により、効果的な復習が実現します。

特長3　詳細なWEB成績表で、“本番までにどこまで点数を伸ばせるか”合格への道筋をシミュレーション

WEB成績表の「合格ナビゲート」では、入試本番で志望校合格のための目標点突破に向けて、**どの科目で何点取るのかというプランをシミュレーション可能。**残された学習時間を最大限に活用するための作戦を立てられます。さらに、成績表返却面談では、**合格可能性を高めるためのヒントが満載の成績表**をもとに、目標達成のための具体的な学習計画を立案。志望校合格に向けた学習を着実に進めていきましょう。

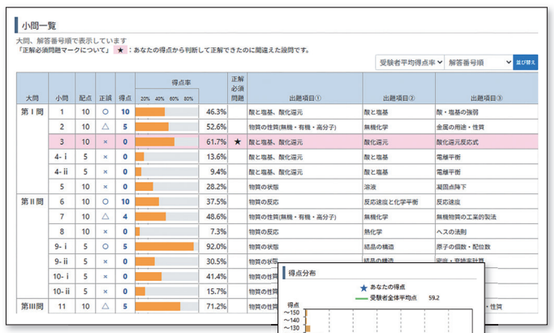
今後の学習の指針が明らかになる、充実の成績表

今回の成績を志望学院が同じ受験者と比較。偏差値により合格可能性を評価します。

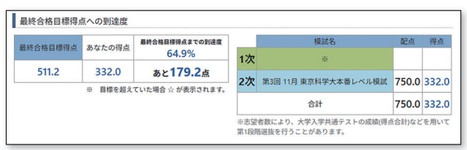


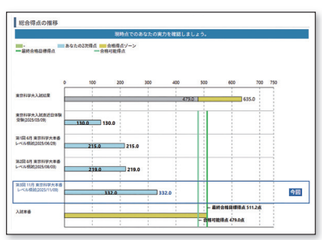
A判定:合格可能性80%
B判定:合格可能性65%
C判定:合格可能性50%
D判定:合格可能性35%
E判定:合格可能性35%未満
Z判定:教科・科目数の不足

直ちに復習することで得点力アップにつながる設問を正解必須問題としてピックアップ。



志望校に合格するためにこれから必要な努力の量を最終合格目標との得点の差として具体的に提示。





※WEB成績表の表示例です。実際の成績表とは一部異なる場合があります。

東京科学大（理工学系）入試【数学】　過去5年間の出題形式　2024年以前は旧課程

	1	2	3	4	5
2026	科目：Ⅰ 分野：数と式	科目：A 分野：場合の数	科目：Ⅱ 分野：図形と方程式	科目：B・C 分野：数列・ 複素数平面	科目：Ⅲ 分野：微分法の応用・ 極限
2025	科目：Ⅲ 分野：微分・積分	科目：C 分野：ベクトル	科目：A・Ⅲ 分野：確率・極限	科目：Ⅱ・B 分野：三角関数・数列	科目：Ⅲ 分野：微分法の応用・ 極限
2024	科目：A、Ⅲ 分野：図形と方程式、 微分	科目：A、Ⅲ 分野：極限、 微分・積分	科目：B、Ⅲ 分野：数列、極限	科目：A、Ⅲ 分野：確率、極限	科目：Ⅱ、Ⅲ 分野：二次方程式、 複素数
2023	科目：Ⅲ 分野：積分法と その応用	科目：A 分野：整数の性質	科目：A、B、Ⅲ 分野：場合の数と確率、 数列、複素数平面	科目：Ⅲ 分野：積分法と その応用	科目：B 分野：ベクトル
2022	科目：Ⅲ 分野：複素数平面	科目：A 分野：整数の性質	科目：Ⅱ 分野：図形と方程式、 三角関数	科目：Ⅲ 分野：複素数平面	科目：Ⅲ 分野：関数と極限、 積分法とその応用

大学入試問題 過去問データベース 最新2026年度を含む入試問題を無料公開中!!

過去の入試問題、解答例は東進ドットコムで公開中!

こちらからアクセス 登録無料

どんな問題が出る？どのように問われる？ 2026年度入試の問題をチェック!

※解答例や講評は東進ドットコム「過去問データベース」から閲覧できます。

● **数学【大問5】** 定積分の極限値の不等式に関する問題
（東京科学大学の一般選抜の入試問題から引用）

5　(60点)

n, kを正の整数とする．次の不等式をみたす最小のkを求めよ．

$$\lim_{n\to\infty}\int_0^{100} x^k e^{-x}\sin^2(nx)\,dx > 10$$

ただし，eは自然対数の底であり，$e>2$をみたす。

全体概観

長い試験時間の中で重厚な問題を粘り強く考える力が必要

2026年度入試でも旧東工大数学から続く「長い試験時間の中で難問に対してじっくりと考えて解答させる」といった傾向はそのままであった。出題範囲は微積分、数列、極限、図形、複素数など頻出の分野から出題されていた。東京科学大学（理工学系）の数学を攻略するためには、数学の基本的な理解を前提として、本番の試験を想定した実戦的な問題演習が必要である。

解法のヒントと対策　実験的アプローチがカギ

大問5は三角関数を含む定積分の極限値に関する問題であった。誘導がない状態で答えを予想して解答に辿り着けるかが問われている。この問題では半角の公式を用いて式変形を行った後に、三角関数を含む項が0に収束することを予想できるかがポイントである。答えを予測した上で証明を行うといった実験的アプローチは本問のような誘導のない問題においては特に重要である。解答の後半部分でも条件を満たすkの値はそこまで大きくはならないと予想できれば、方針は立てやすいだろう。方針が立てづらい問題であっても、答えを予想してみて、そこから逆算して考えてみよう。

紙の限界を超えた！WEBならではの機能を続々搭載。

東進だけのWEB成績表で君と東京科学大の距離がぐっと近づく。

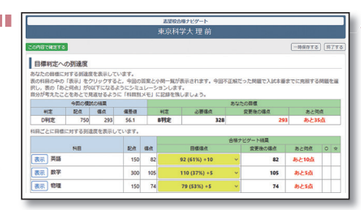
従来の紙の成績表で示していた学力判定や志望校判定等に加えて、WEBならではの機能を搭載したことでさまざまな角度での成績分析が可能になりました。返却される紙の成績表の表紙に掲載されている二次元コードからアクセスして利用が可能です。　※東進生は、成績表返却日から東進学力POSで閲覧できます。

● **優先して対策すべき“正解必須問題”がわかる**
君の得点と受験者全体の正答率をもとに、本来の実力であれば正解できていたはずの問題を「正解必須問題」としてピックアップ。

● **志望校合格のための“合格ナビゲート”機能**
合格目標点まで「あと何点必要か」という情報にもとづき、どの設問で得点または加点するのかをシミュレーションできます。

● **第一志望者で絞り込んだ設問別正答率の表示**

● **小問をさまざまな条件で並び替えることで復習優先度を明確化**
(全国平均正答率順、解答番号順、第一志望校の志望者内正答率順)



● **受験後アドバイスを表示**

● **解答解説・問題・合格指導解説授業※をワンタップで閲覧、受講できる。さらに採点済み答案の閲覧も!**
※模試により設置有無が異なります

ほか